

4. 老上西学区の課題

- ・老上西学区では、大規模商業施設や幹線道路の整備、住宅開発等により人口が増加し、今後も増加することが予測されています。また、市内他学区と比較すると高齢化が進んでいくと予測されています。こうした中、高齢者をはじめ地域で生活するすべての人々が、安心・快適・便利に暮らし続けることができる持続可能なまちづくりを目指し、次の視点から老上西学区の課題を整理します。

地域資源

- ① 中間水路は、琵琶湖と身近に触れ合うことのできる貴重な空間ですが、流れが停滞しており、水質改善が長年の課題となっていることから、この改善に向けた方策について、様々な関係機関と連携しながら検討を重ね、水質改善や利活用に向けた仕組みづくりを行っていくことが重要です。
- ② 矢橋帰帆島は、近江八景の一つの“矢橋の帰帆”として地域の貴重な歴史資源であり、矢橋帰帆島公園には、年間約51万人（令和元年度）が訪れ、滋賀県内でも有数の観光スポットであることから、更なる活性化に向けた取り組みの展開が重要です。

5. 基本方針と具体的な施策メニュー（令和8年3月改訂）

・草津市版地域再生計画における老上西学区の将来ビジョンを更に具現化するため、観光資源などの地域資源をより効果的に活かす施策を推進します。

【老上西学区の地域再生を具現化する推進計画】

★…市事業 ●…民間事業 ○…協働事業 ■…県事業（要望）

基本方針	将来ビジョン (草津市版地域再生計画)	番号	施策	施策内容	老上西学区まちづくり計画との連携(基本方針)	施策の実施主体				短期計画(第2期)				
						市(担当課)	民間【役割】	地元【役割】	県	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
Ⅱ 交通環境の充実	基幹的公共交通や“まめバス”等の補完公共交通の充実を図り、区域内や区域と“まちなか”を結び利便性の高い公共交通を目指します。また、公共交通の利用がしやすい環境の整備を目指します。		生活者のニーズに応じた基幹的・補完公共交通の充実	① 補完交通の充実	イオンモール草津や淡海医療センターを経由し、南草津駅と繋がる基幹交通バス路線がある一方、学区内には一部交通不便地が残っていることから、補完公共交通による移手段の確保を検討する。	① みんなのコミュニティ意識を高め、活き活きと健康に暮らせるまちづくり活動へ参加しましょう。	○ (交通政策課)	○ 【交通ネットワークの充実】	○ 【ニーズの集約、手法の検討】		○まめタクのニーズ・運行ルートについて検討 → 構想検討			
				② 公共交通以外の住民移動サービスの検討	更なる高齢化等による運転免許証の返納や、バス停までの移動の困難化を見据え、既存の公共交通以外の住民移動サービス(ライドシェア等)について検討を行う。	① みんなのコミュニティ意識を高め、活き活きと健康に暮らせるまちづくり活動へ参加しましょう。	○ (交通政策課) (都市地域戦略課)	○ 【参入の検討】	○ 【ニーズの集約、手法の検討】		○補完交通について検討 → 構想検討			
Ⅲ 地域資源を活かした産業の支援	老上西学区に存在する様々な地域資源を活かし、実現性の高い地域振興を目指します。		地域資源(観光、農業)を組み合わせて地域活力向上を推進	③ 中間水路の利活用	令和4年10月に地域と大学とが連携し、策定した「みんながつながるウォータータウン」に掲げる利活用イメージの実現を目指し、中間水路の水質改善に向けた取り組みを推進するとともに、地域で行う「びわ湖まもり隊」による中間水路の清掃活動を通じ、地域と行政とが連携した中間水路の環境改善を進める。これまでも数回開催した水上アクティビティの実施に係る実証実験「カヌー体験会」を年1、2回の頻度で、引き続き開催する。	① みんなのコミュニティ意識を高め、活き活きと健康に暮らせるまちづくり活動へ参加しましょう。	○ (都市地域戦略課) (上下水道施設課)	○ 【大学等との検討、企画、運営】	○ 【地域ニーズの集約】	○	○中間水路の利活用について検討 → 実施 ■中間水路の水質改善(滋賀県への要望) → 水質改善要望			
				④ 矢橋帰帆島の利活用	令和4年10月に地域と大学とが連携し、策定した「みんながつながるウォータータウン」に掲げる利活用イメージの実現を目指し、「環境」「教育」「レジャー」など多彩な魅力を持ち、「THE・シカパーク」の一つに指定される「矢橋帰帆島公園」への集客力向上を通じて、下水道施設としてのマイナスイメージを払拭し、地域が誇るべき施設となるよう、地域と大学、行政とが連携した取り組みを進める。	① みんなのコミュニティ意識を高め、活き活きと健康に暮らせるまちづくり活動へ参加しましょう。	○ (都市地域戦略課)	○ 【大学等との検討、企画、運営】	○ 【地域ニーズの集約】	○	○矢橋帰帆島の利活用について検討 → 実施			

・施策メニューを地図上に落とし込み、図-8 に示すように老上西学区の地域再生をイメージ化しました。

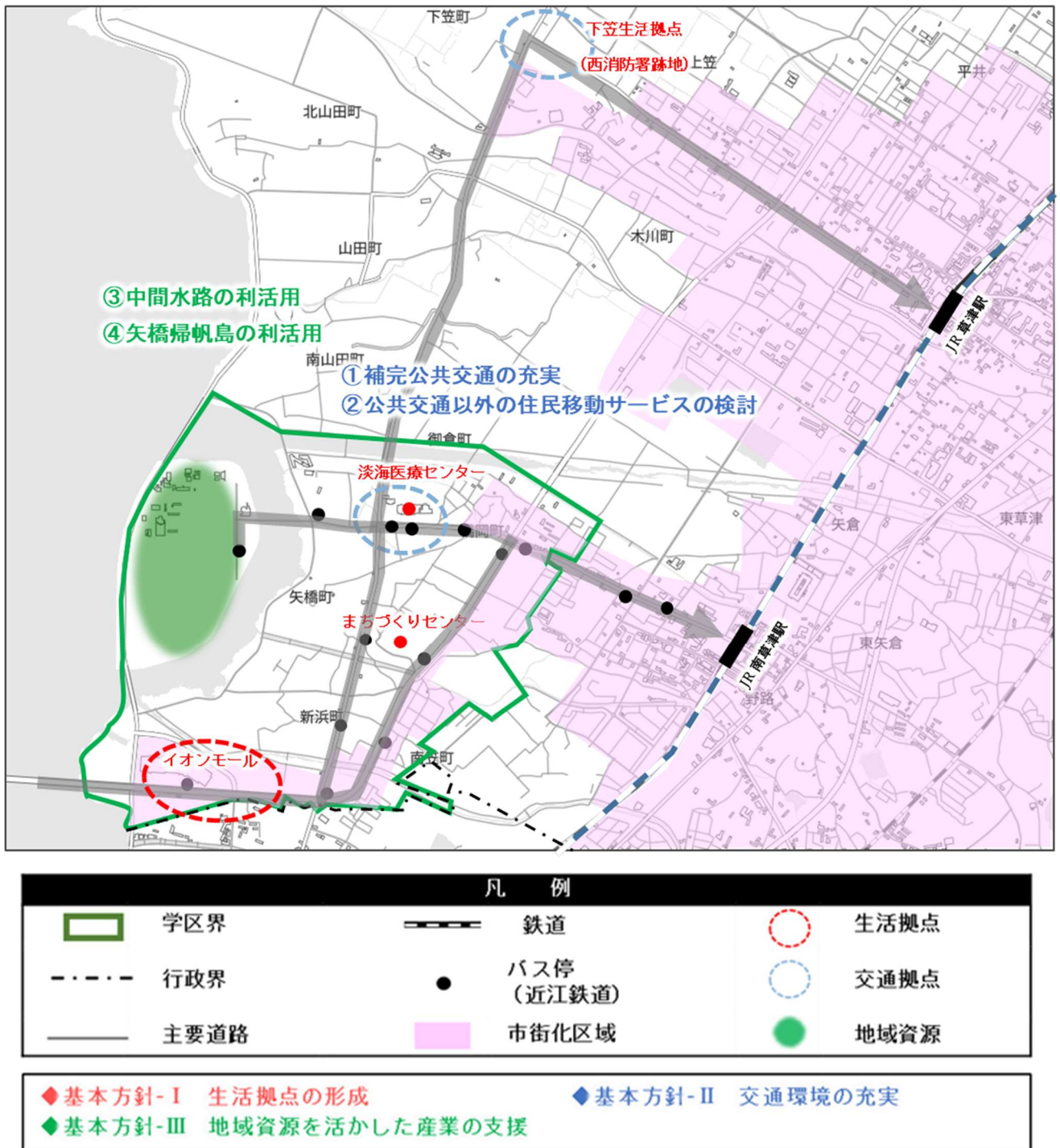
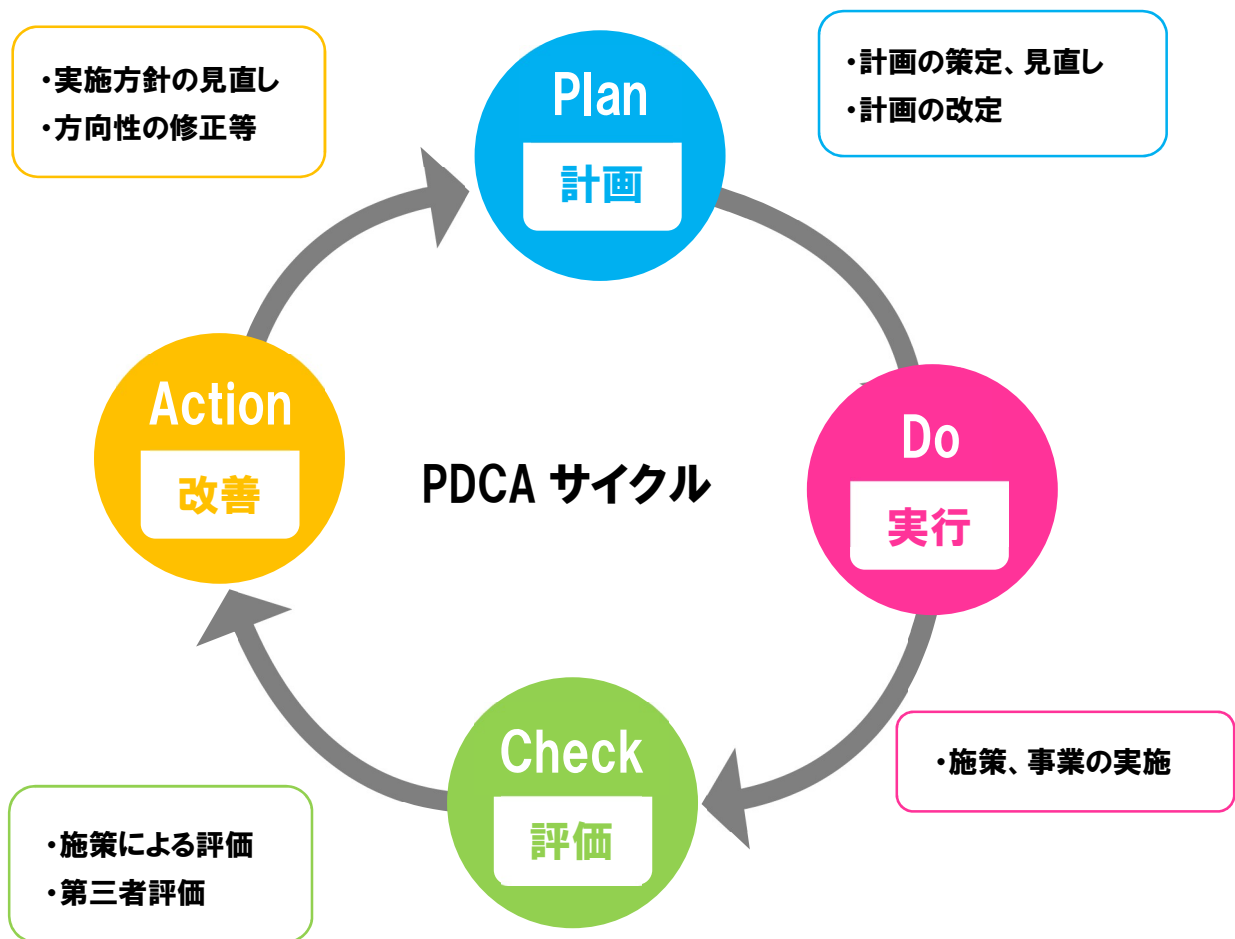


図-8. 老上西学区 地域再生イメージ図

6. 推進計画の進行管理

- ・草津市版地域再生計画に基づく老上西学区まちづくりプランは、施策に応じて市が実施する事業・民間企業が実施する事業・地域と市が協働で実施する事業・要望により滋賀県で実施する事業など、多様な主体においてそれぞれの施策を進めていきます。
- ・草津市版地域再生計画の計画期間は平成30年から令和21年までの長期的な計画であるため、まちづくりプランの計画期間（5年を目安）終了を区切りとして、取組みの進捗状況や事業の効果などについての分析・評価を行い、PDCAサイクルの考え方に基づいて修正・見直し等を行います。



7. 老上西学区まちづくりプラン策定の体制・経過

(1) 検討体制

- ・まちづくりプラン策定のための検討会議を開催し、老上西学区の地域再生に係る検討を重ねました。

(2) 検討経過

	開催年月日	主な内容
第 1 回	令和 2 年 1 1 月 2 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域再生計画（まちづくりプラン）について ・みどりとみずべの将来ビジョンについて
第 2 回	令和 3 年 2 月 1 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・矢橋帰帆島や中間水路の課題について
第 3 回	令和 3 年 6 月 1 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・立命館大学の先生紹介 ・今後のスケジュールについて
第 4 回	令和 3 年 7 月 2 0 日	<ul style="list-style-type: none"> ・立命館大学の先生との協議 ・今後の進め方について
第 5 回	令和 3 年 9 月 1 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりプラン作成のスケジュールイメージについて
第 6 回	令和 3 年 1 0 月 1 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・立命館大学の先生との協議 ・今年度の進め方について
第 7 回	令和 3 年 1 0 月 2 8 日	<ul style="list-style-type: none"> ・中間水路や矢橋帰帆島でのフィールドワーク
第 8 回	令和 3 年 1 1 月 1 7 日	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりプランに位置付ける施策について
第 9 回	令和 3 年 1 1 月 2 7 日	<ul style="list-style-type: none"> ・立命館大学の先生や学生を交えてのワークショップ
第 1 0 回	令和 4 年 1 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ・第 2 回ワークショップについて
第 1 1 回	令和 4 年 3 月 6 日	<ul style="list-style-type: none"> ・立命館大学の先生や学生を交えての第 2 回ワークショップ